

夢 タウン まつぶし

9月定例会

# 議会だより

第107号

令和元年10月29日発行



「天高く馬肥る秋」 県営まつぶし緑の丘公園

- ◎ 平成30年度決算 ..... 2~3P
- ◎ 議案・補正予算・意見書 ..... 4~5P
- ◎ 10人の議員が「町政」を問う ..... 6~11P
- ◎ 委員会報告 ..... 11P

# 平成30年度 決

笑顔が未来に広がる 緑あふれるみんなのまち！

一般会計 歳入総額 86億 589万円  
 特別会計 65億7,451万円

## 主な事業

- ①小中学校5校にエアコン設置の実施設計
- ②町道3号線の拡張事業 歩道整備の用地買収等
- ③町制50周年記念事業のプレイベント  
「まつぶしフォトロゲイニング」

## 歳入

### 一般会計 主な質疑

問	答
町の財政運営の総合的な判断の基本は、計画性、弾力性、積極性の3つが総合されて評価される。実質収支比率は、3%から5%が望ましいとされているが、7.2%と高い理由は。	実質収支比率は、歳入歳出の差し引きから翌年度へ繰越すべき財源を引いた実質収支額を標準財政規模で割り返した値である。平成29年度は8.5%という数字で、昨年度と比較すると1.3%減となった。普通交付税の増額により、標準財政規模が増額となっている。平成30年度の繰越金が単年度収支で、6,900万円ほど減額になったことが要因。近隣の市も、ほぼ9%、8%の数字で推移している。
町民1人当たりの財政負担額は、平成29年度に比べて9.3%の減となっているが、どのように評価するか。	町民1人当たりの財政負担額減要因は、地方債の現在残高、あるいは債務負担行為の予定額から財政調整基金などを除いた数字を住民基本台帳の人口で割った値である。地方債の現在残高は約1億5,000万円減少しており、債務負担の予定額も4億1,000万円減少している。基金残高も3億6,000万円増えているので、将来負担が軽減され、健全化が図られたと認識している。
町民税の予算現額は15億7,840万円で、収入済額16億6,687万円。予算現額との差は8,847万円。町民税の当初予算額に比べて収入済額は1億1,847万円多くなったが、誤差が大き過ぎるのではないか。	町民税の収入済額のうち、町民税の9割を占める個人町民税について、予算を積算する上での課税資料として給与支払い報告書や確定申告書、また住民税の申告書がある。これらの課税資料の提出期限が、給与支払い報告書は1月末、申告書は3月15日となっているので活用できない。予算を作成する際には、過去の推移、景気の動向を基に積算、前年度の当初予算と比較して0.7%増の積算とした。法人町民税は、当初予算の積算時、累計で20%以上下回っていたことから、前年度比23%減の積算をした。
地方交付税、当初予算は14億8,000万円で決算額は17億5,404万円と大きくなった要因は。	主に、基準財政収入額について、個人住民税の所得割に関し平成29年度の本算定、決定額をベースに地方財政計画の数字を用いて見込みを出したが、さらに下回り約3,600万円ほど算定額が見込み額から減った。基準財政収入額が減額すると、地方交付税は増える構造となっている。
ふるさと納税は、寄附件数、件別金額とも減少しているが、その要因は。	平成30年度は48件、寄付総額110万4,500円、金額別では1口2万円が多い傾向にある。減少要因は、返礼品は町と推奨特産品をPRし、町を情報発信する考えでスタートした。高級な牛肉やカニなど地場産品で扱える市町村は、寄附額が多いが、過度な競争が始まってギフト化されてしまった。国は、寄附金に対する返礼額の割合を3割に抑え、地場産品のみと規制した。

# 算 認 定

9月定例会

9月2日から  
9月25日まで

歳出総額 81億2,990万円  
62億8,367万円

- ④「第二次健康まつぶし21」の策定
- ⑤人口減少対策の一つとしてシティプロモーション戦略に基づいた町のPR動画の撮影
- ⑥「松伏・田島産業団地」の整備(継続)



町制50周年記念事業プレイベント  
「まつぶしフォトロゲイニング」

## 歳出 一般会計 主な質疑

問	答
町制50周年プレイベント「まつぶしフォトロゲイニング」採用の背景・経緯と若い人の発想を取り入れた企画について説明願う。また、50周年記念イベントにどのように活かしていくのか。	50周年事業にあたり実施方針を定め、町内及び町外に広くPRし、実際に松伏に来て頂いて、触れて頂き、ひいては松伏に住んで頂くというコンセプトの下で企画を考えてきている。プロジェクトチームを組み、若手職員の提案でフォトロゲイニングの企画に至った。当日は雪の悪天候の中であったが、58チーム、155人の参加があった。商工会、町内事業者の協力で町内特産品の振る舞いができた。この経験を次の事業につなげていきたいと考えている。
早期不妊検査助成・治療費助成金で早期検査として妻の年齢43才未満で2万円の助成、治療に関しては妻の年齢35才未満では上限10万円だが一定の条件がある。実績について説明願う。	平成30年度の新規事業として、松伏町不妊治療費助成金交付要綱を定め、不妊検査、不育症の検査、不妊治療への助成する3事業を新たに始めた。利用件数は、不妊検査の助成金について2件、不育症の助成金の利用はなく、不妊治療費の助成金については3件の利用があった。
平成30年度に児童館を利用した松伏町民の数と、平成29年度の実績と比べどのようになっているか。児童館の利用者が7,486人も減っているが、家庭生活および職業生活の両立支援をどのように評価するか。	平成29年度、6万人の利用に対し、減少が見られる。近年夏場の暑さが大変激しく、児童・生徒の健康に配慮して、屋外で行うイベント・事業を中止することがあり、事業の延べ回数が若干減っている。また利用者数も過去最多のインフルエンザ患者数となる中で減少した状況になったと考えている。子供の居場所、子育てに関する情報提供、相談の充実の場所として、松伏町児童館、ちびっ子ランドの管理運営に努めていく。
高齢者福祉タクシー事業には高齢者の実情に合っていない制限があり、利用が少ない状況である。町として平成30年度の事業をどのように分析し、今後活かしていくのか伺う。	平成30年度の実績は交付対象者206人に対し、交付枚数2,472枚、利用枚数1,328枚となっている。1ヶ月当りの利用枚数は110枚、平成29年度の70枚より40枚程の増加となっている。行き先は町内、町外を問わず、病院の利用が一番、次に買い物という利用状況となっており、利用開始年度から特段の変化はない。今後、交通弱者対策の中で、健康で長生きのできる松伏町をつくっていききたい。
消火栓設置費415万3,500円のうち、新設となった理由と経費、今後の予定は。	大字築比地地区内の消火栓の新規設置は、毎年度1か所新設することとしており、消防署と協議し、効果的に配置するよう努めている。大字松伏地区内については、県道越谷野田線の整備に合わせ、水道管布設の必要から、道路築造に合せて2件新設した。他に田中地区内で水道管の老朽化により2か所更新し、合計5ヶ所の消火栓に係る負担金が415万3,500円となった。今後も効果的な消火栓の設置に取り組んでいく。

## 人事

### 松伏町教育委員会教育長の任命

岡田 直人氏（新任）（任期 令和元年10月1日～令和4年9月30日）

### 松伏町教育委員会委員の任命

田口 嘉則氏（再任）（任期 令和元年10月1日～令和5年9月30日）

## 議案

### 松伏町下水道事業の設置等に関する条例

松伏町下水道事業に地方公営企業法の財務規定等を適用するため、下水道事業を設置するもの。

#### ○主な質疑

**問** 地方公営企業法に規定する財務規定等は、人口3万人以下の団体は努力義務だと思うが、人口29,000人の松伏町は、地方公営企業法を必ずしも取り入れなくても良いのではないか。

**答** 公営企業が住民サービスを将来にわたり安定的に提供していくためには、中・長期的な視点に立った計画をし、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組んでいく必要がある。そのため、貸借対照表や損益計算書等の財務諸表の作成を通じて町の経営、資産等を正確に把握する公営企業への移行が必要である。

**問** 地方公営企業法に規定する財務規定を採用すると、下水道事業にどんなメリットがあるのか。

**答** 現行の単式簿記から複式簿記に移行することになり、経営状況や財務状況が明確になる。そのほか、計画的な事業運営や情報公開による説明責任の向上などのメリットがある。

## 意見書

### 可決

- 学校体育館へのエアコン設置にかかわる緊急防災・減災事業債の対象期間延長を求める意見書

### 否決

- 会計年度任用職員制度の施行に伴う、国の地方自治体への十分な財政措置を求める意見書

# 令和元年度補正予算

## ○一般会計 歳入

(単位 千円)

	補正前の額	補正額	計
地方特例交付金	41,223	13,440	54,663
国庫支出金	986,533	7,452	993,985
県支出金	641,920	2,222	644,142
寄附金	2,012	1,990	4,002
繰入金	485,515	-67,896	417,619
繰越金	140,000	278,036	418,036
諸収入	248,600	3,172	251,772
町債	370,100	-1,500	368,600
合計	8,268,998	236,916	8,505,914

## ○一般会計 歳出 主な内容

町制50周年記念事業(後藤純男絵画展でのパンフレット内容の充実)	220万円
障害福祉サービス支援事業	492万円
農業基盤整備工事	180万円
農業用揚水機場の揚水ポンプ入替工事	1,200万円
町道の小規模修繕(町内全域)	600万円
排水路清掃	100万円
幹線道路の植え込みの除草・樹木の剪定	500万円

## ○介護保険特別会計

音楽療法を取り入れた介護予防事業	177万円
------------------	-------

主な議案の採決 (9月定例会)	議員名												
	高橋 昭男(自)	佐藤 永子(自)	荘子 敏一(公新)	堀越 利雄(公新)	長谷川 真也(町)	福井 和義(無)	松岡 高志(自)	田口 義博(自)	増田 等(自)	山崎 隆一郎(公新)	平野 千穂(共)	吉田 俊一(共)	鈴木 勉(無)
平成30年度松伏町一般会計歳入歳出決算の認定について(議案第69号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●
平成30年度松伏町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について(議案第70号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●
平成30年度松伏町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について(議案第73号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
平成30年度松伏町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について(議案第74号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度松伏町一般会計補正予算(議案第63号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度松伏町国民健康保険特別会計補正予算(議案第64号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
学校体育館へのエアコン設置にかかわる緊急防災・減災事業債の対象期間延長を求める意見書(発議第9号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
会計年度任用職員制度の施行に伴う、国の地方自治体への十分な財政措置を求める意見書(発議第10号)	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	○	○	○

(○=賛成、●=反対)

(会派名) 自=自民クラブ、町=町民クラブ、公新=公明・新自民の会、共=日本共産党、無=無所属クラブ

## 町政に関する

### 一般質問の主題

#### 福井 和義

- 地域公共交通を生かしたコンパクトシティ
- 新しいコミュニティスポーツの実施

#### 莊子 敏一

- 総合的なごみ処理
- 議場のバリアフリー化

#### 増田 等

- 町内の公園整備と方向性
- 子育ての魅力ある施策
- 町内交通網の充実
- 実効性の高い防災訓練のあり方

#### 山崎 隆一郎

- 病児・病後児保育の確実な実施
- わんわんパトロールの導入
- 中学校の自転車通学
- 人もペットも楽しめる公園機能の充実
- 結婚新生活支援事業の活用及び出会いの場の提供

#### 田口 義博

- 新聞活用の学習
- 交通弱者対策
- 町道の舗装
- 防災対策

一般質問の会議録全文は町のホームページから検索できます

#### 松岡 高志

- 次期「松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略」での新たな人口減対策の実施を

#### 長谷川真也

- 自治会の運営・助成
- 松伏中学校の危険箇所等の改善予定
- 特産品の販売状況と今後の展開
- ふるさと納税
- 市町村合併

#### 鈴木 勉

- 住民が望んでいない道の駅計画は断念・中止せよ
- 町立図書館の設置・実現を

#### 平野 千穂

- 自衛官募集事務、町は行き過ぎた協力はしていないか
- 小中学校の体育館やB & G体育施設へのエアコン設置を急げ
- 投票率向上のための取組を

#### 吉田 俊一

- 交通不便地域の対策、高齢者の交通手段の確保にむけた対策を
- 生活保護受給者に対するエアコン設置について、現行制度の改善にむけ働きかけを

10人の議員が町政を問う



ふくい 福井 和義 (無所属クラブ)

Q 公共交通によるコンパクトシティ

A コンパクトの町になっている

問 コンパクトシティで成功しているのは富士市である。富士市は、人口減少、少子高齢社会が進む中、都市の魅力や活力を維持するため「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」を推進している。松伏町も急激に人口減少が進んでいる。平成28年は219人、29年は213人、30年は354人減少している。この人口減少を抑制するためには、町の魅力、活力を再発見しなければならない。

- ① 松伏町は、首都圏30kmに位置し、公共交通機関を使って上野駅まで約60分。
- ② 松伏町赤岩入口のバスの本数は、7時台が18本、8時台は13本。東武スカイツリーライン、北越谷駅の電車の本数は、7時台が19本、8時台は15本。
- ③ 北越谷駅、南越谷駅、吉川駅、越谷レイクタウン駅等へのアクセスは良。再発見したことをさらに高めると、町全体が活性化される。町は地域公共交通を生かしたコンパクトシティをどの様と考えているのか。

答 新市街地整備課長 鉄道駅のない当町において、コンパクトシティの中心拠点はゆめみ野地区の商業施設があるエリアになり、既にコンパクトなまちづくりはできている。



地域を活性化する路面バス



しょうし 庄 子 としかず 敏 一 (公明・新自民の会)

**Q** リサイクルセンターの改善点は

**A** 資源化と効率や労力が改善される

**問** 新たに整備するリサイクルセンターの機能が現状とどのように変わるのか。

**答** 環境経済課長 建設予定の施設設備の機能は、新たな処理機械を導入し、「資源化率の向上」、「作業効率の向上」、「作業労力の軽減」が図れる。

- ① 資源化率の向上は、雑芥ごみの金属類のプレス処理が可能になる。
- ② 作業効率の向上は、現在、重機で行っている不燃物の破碎工程が無くなり効率が向上する。
- ③ 作業労力の軽減等は、現在手作業で行っている破袋作業が削減される。

**問** 大型ごみに含まれる資源はどのように解体し資源を取り出すのか。また、どこまでを再利用可能な資源として捉え中間処理場を運用するのか。

**答** 環境経済課長 新たな中間処理場建設後も、大型ごみは多種多様なため、今までと同様に、搬入された後は、重機または人による分別処理になる。粗大ごみに該当する大きさの中で、金属プレス機

が利用できる品物等もあるので、導入の際の費用等も考慮しながら検討する。

**問** 粗大ごみのリサイクル率は、どのくらいなのか。

**答** 環境経済課長 直近の粗大ごみのリサイクル率は、受け入れ量が約180トンで資源化した量はおよそ84トン、残りは、燃えるごみ等となり、リサイクル率は約46%だった。



雨ざらしで修理を重ねている、中間処理場の機器



ますだ 増 田 ひとし 等 (自民クラブ)

**Q** 民間活力での町内循環交通網整備

**A** 交通弱者対策の検討委員会を設置

**問** 町内の公園整備と方向性について問う。

**答** 新市街地整備課長 「ハイハイができる公園」は県営まつぶし緑の丘公園での整備を検討。「松伏・田島産業団地」内に設置する公園にターザンロープ設置を予定し、わんぱく公園の機能を持たせる。

**問** 子育ての魅力ある施策の中で、町長公約の子育て転入者の引越し費用の助成制度、一定のローン設定者の固定資産税の減免制度、ゆめみ野地区の空家を月5万円で子育て世帯に貸し出す制度、学校給食を2子より50%、第3子へ全額免除する制度の構築の各取り組みの進捗を問う。

**答** 町長 固定資産税と給食費の減免は補助や給付での検討を指示。ゆめみ野地区の空き家の活用は公約の位置付けではないが、有効活用の推進を指示。

**副町長** 子育て転入者の引越し費用助成の制度設計を検討・構築中である。

**問** 「民間活力での町内循環交通網の整備」の進捗は。

**答** 町長 公約の位置づけではないが、課題解決に有効であると認識。重要課題であり、有識者を含めた交通弱者対策の検討委員会設置を指示した。

**問** 実効性の高い防災訓練のあり方について問う。

**答** 総務課長 避難所への誘導訓練は避難所開設訓練を発展させ、住民とともに「命を守る」初動訓練や避難誘導訓練も含めた形で、来年度以降に取り組んでいきたい。



イベントで賑わう松伏総合公園



やまざき りゅういちろう  
**山崎 隆一郎** (公明・新自民の会)

**Q** 蛍が飛び交う幻想的な風景を

**A** 心意気としてはそうありたい

**問** まつぶし緑の丘公園の水辺ゾーンの水質汚濁が指摘されている。毎年夏にNPO法人松伏公園都市づくり協会主催のホタル観賞とミニコンサートの夕べの集いが行われており、本来なら、蛍が自生するような水辺が望まれるが水の出入り口がない池での、水質浄化への取り組みを埼玉県と進めるべきではないか伺う。

**答** **新市街地整備課長** 池の水質は、管理者としても懸案事項であると認識している。埼玉県と協議し、平成29年度より水質悪化の一因のミドリガメの駆除を実施、また、ポンプによる池の水抜き作業を臨時的に実施している。しかし、根本的な水質改善策については、県とさらなる対策を検討していきたい。

**問** 水辺ゾーンで松伏の原風景として蛍が飛び交う幻想的な風景を取戻すことは可能か。目標になるものか。

**答** **新市街地整備課長** 蛍が飛び交う幻想的な風景に

関しては、かなり崇高な目標になるかなと思えるので、心意気としてはそうありたいと考えている。

**問** 蛍の住む池を今後目指したいとの看板を掲示出来ないか。

**答** **新市街地整備課長** 期を捉えて、これから検討する。



まつぶし緑の丘公園 水辺ゾーンの池



たぐち よしひろ  
**田口 義博** (自民クラブ)

**Q** 町道として採納した所を舗装して

**A** 早めに舗装するのが理想的だ

**問** 町民から町に分筆した土地が未舗装のままになっている。通学路でもあるので、砂利道を解消して欲しいとの電話とFAXが入った。昨年度の分筆後、採納件数と舗装数はどのような状況か。

**答** **まちづくり整備課長** 平成30年度に採納された件数は19件で、そのうち舗装したものは0件です。

**問** 簡易舗装でもよいが、舗装した場合の費用は。  
**答** **まちづくり整備課長** 昨年度に採納された面積が約200㎡。5cmの舗装で160万円程度になる。

**問** 住環境を良くするために採納していただいた。こういった現状をどの様に対応するのか。

**答** **まちづくり整備課長** 道路後退による用地の寄付、採納した場所に対しては砕石を敷きならし整備を行っている。数年後、わだちなどにより支障があれば、再度、砕石の敷き直しや穴埋めをする。

**問** 数億円の繰越金がありながら200万円未満の予算を組めない現状を、土地の提供者にどの様に説明するのか。

**答** **町長** なるべく早い段階で舗装し、暮らしやすい町を創っていきたい。よく調査して可能な限り、早めに舗装するのが理想的だと認識している。

**問** 新聞を学校の教材として活用し、学力の向上に。

**答** **教育総務課長** 活字離れの解消、読解力、思考力、情報活用能力を高める効果が期待できる。



一部未舗装の町道 (金杉地内)





まつおか たかし  
**松岡 高志** (自民クラブ)

**Q** 地方創生での新たな事業展開は

**A** 次期戦略を各課提案事業で構築

**問** 国立社会保障・人口問題研究所の将来人口推計から、町の人口減の現状と将来人口をどう考えるか。

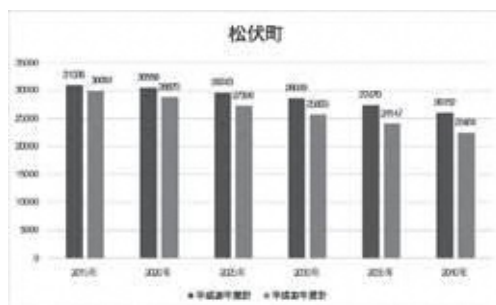
**答** **企画財政課長** 現状及び将来人口推計においても減少となっており、非常に厳しい状況にあると認識している。人口減少のカーブを緩やかにできるように各種施策及び事業の検討を進めている。

**問** 次期戦略で地方創生交付金を受けるためにはどのような取り組みが重要と考えるか。

**答** **企画財政課長** 町の財政負担が生じることや、既存の各種事業のバランスもあり、長期的な視点と町としてのメリットなどを考慮した結果、交付金の活用に至っていない。現在、次期戦略の策定を進めているところであり、次期戦略に係る事業を各課から提案してもらい、地方創生交付金の獲得ができるように事業構築に努めていきたいと考えている。

**問** 先進地では「地域みらい課」などの新たな課をつくり、課を横断した形で地方創生に取り組んでいる。町長の考えを伺いたい。

**答** **町長** 人件費等の問題がある。現在、いろいろな課がそれぞれできればそれに越したことはないと思うが、今のところ、各課から照会したものを企画財政課が取りまとめをして、それで戦略を練っていきたいと思っている。



国立社会保障・人口問題研究所  
松伏町将来人口推計



はせがわ しんや  
**長谷川 真也** (町民クラブ)

**Q** 松伏中学校の改善箇所を問う

**A** しっかり調べて対応する

**問** 木工室の雨漏り個所の改善修理を問う。

**答** **教育総務課長** 屋根部分の清掃を行ったことで改善されたものの、いまだに多少の雨漏りがする状況にある。雨漏り箇所を特定し、どのくらいの費用がかかるのかを把握し修繕をしていきたい。

**問** プールの老朽化問題を問う。

**答** **教育総務課長** プール外側立ち上がりの壁、一部が壊れ老朽化している。使用上は特に問題はないが小動物が住みつくというような形もあり、予算の範囲内で優先順位をつけて検討していく。

**問** ふるさと納税返礼品の数について問う。

**答** **町長** 国からいろいろな指針も出ている。まずは町の特産であるということが重要になってきている。各市町村が今それに合わせているところである。そういう中では商工会等と打ち合わせをしながら、拡大できるものは拡大したいと思っている。

**問** 合併について問う。

**答** **町長** 合併の機運が来るまでに、財政指数0.64を少しでも上げていくのが私の仕事と認識している。地下鉄8号線が来るならば、このときに市町村の負担金は200億円とも300億円とも言われている。これまでに合併をしておかなければ、私はこの町としては地下鉄の誘致をする力はないと思っている。この2点から、なるべく力の強い松伏町をつくっていきたいと思っている。



松伏中学校プール状況



すずき 鈴木 勉 (無所属クラブ)

**Q** 道の駅概算事業費21億円の内訳

**A** 国庫補助など8億円、町13億円

**問** 道の駅基本計画では、概算事業費が21億円と見込んでいるが、財源はどのように確保するのか。

**答** **新市街地整備課長** 施設整備費の軽減を図るため各種補助金の活用等を検討している。一体型整備として、駐車場、トイレ、情報発信施設は道路管理者の国土交通省が設置する。21億円の概算事業費は、国が整備する部分を含んだ事業費となっている。

**問** その内訳は、どのようになっているのか。

**答** **新市街地整備課長** 国の整備分が5億円程度で差引16億円が町負担となる。この中で、色々な国庫補助事業を活用していきたい。

**問** 町の一般財源は、どの程度見込まれるか。

**答** **新市街地整備課長** 国庫補助金で3億円程度で起債を含めた町の負担分は13億円ぐらいになると現状では考えている。

**問** 越谷市も道の駅をつくる計画がある。施設規模も大きく、品揃えも豊富でイチゴ農園と連携した施設ができる見込みであり、かなり脅威になる。松伏町の道の駅が負け組になる可能性も十分ある。そのリスクをどのように認識しているのか。

**答** **新市街地整備課長** 何か特色的なものがあれば、越谷に寄った人も松伏に寄っていただけだと思う。越谷と松伏、競争してどっちが勝つという考えは持っていない。



春日部市内(旧庄和町)にある「道の駅庄和」



ひらの 平野 ちほ 千穂 (日本共産党)

**Q** 体育館やB&Gへエアコン設置を

**A** 他施設と優先順位計りながら検討

**問** 小中学校の体育館にエアコンを設置し、教育環境の整備や防災機能を向上させる事について、町の考えや計画時期は。国・県からの補助金はあるか。

**答** **教育総務課長** 要望があることは理解しているが現時点では検討に至っていない。設置時期は、他の施設や事業との優先順位を計りながら検討していく。国の大規模改造事業の対象となる。来年度までが申請期限の緊急防災・減災事業債も適応。

**問** B&G施設へのエアコン設置について、町の考えや計画時期、B&G財団からの補助金はあるのか。

**答** **教育文化振興課長** B&G財団の特A評価を10年継続すると3千万円の助成の対象。現在8年連続で特A評価を受けている。最終修繕から5年経過が条件。本格的な活用を検討する必要がある。

**問** 投票率向上の取り組みとして、①期日前投票所を、役場以外の北部サービスセンターや商業施設にも増設してはどうか。②投票所への移動支援を。

**答** **総務課長** ①投票機会の拡大につながるが、投票管理者等の人員確保、二重投票の防止やセキュリティ対策等の設備費、人件費等の増加などが課題。②今後検討していくべき課題と考えている。

**問** 自衛官募集等で、行き過ぎた協力はしていないか。

**答** **新市街地整備課長** 自衛官募集の掲示板が、公序良俗に反しないと判断し、松伏記念公園内の松伏高校前バス停脇に設置する申請を許可した。



松伏高校前バス停脇の自衛官募集の掲示板



よしだ しゅんいち  
**吉田 俊一**（日本共産党）

**Q** 町北部や高齢者の公共交通対策を

**A** 交通弱者対策委員会を立ち上げる

**問** 交通不便地域の対策、高齢者の為の交通手段としてワゴン車を利用したデマンド交通導入が必要と考えている。これまで町答弁では「財政持ち出しが将来的に負担しきれない」ことが踏み切れない最大の理由となっている。しかし調べてみると、地方バスやコミュニティバスやデマンド交通に対し、特別地方交付税の仕組みがあることがわかった。自治体が負担する赤字分のうち5分の4（80%）が交付される。調査・検討はしていないのか。

**答** **企画財政課長** 県の市町村交通担当者会議に出席、研修をうけてきた。県内市町村の取組も発表され、デマンド交通を実施する8町村の赤字額は平均2,400万円ほど。独自に負担する額は480万円。今後、特別交付税の対象要件を詳細に分析したい。

**問** 以前、私が調査した柏市や坂東市は、2台の車でデマンド運行し、赤字分は約1,400万円。特別交付税で80%交付があれば実施可能だ。実際に、デマンド交通またはコミュニティバスなど走らせ

る為には道路運送法上の許可が必要で、そのためには地域公共交通会議を自治体が設置し、関係者の合意形成を図ることも求められる。町が方針を固めて進めなければ、いつまでも変わらない。

**答** **町長** 杉戸町を視察し情報を聞いてきた。12月議会において、交通弱者対策委員会を立ち上げる仕組みや内容を説明できるようにお約束したい。

デマンド交通の実施状況（2018年7月1日）

市町村名	運行主体	車両タイプ(台数)	市町村名	運行主体	車両タイプ(台数)
行田市	昭和タクシー(株) 秩父タクシー(株)	セダン型(33)	幸手市	幸手市	ワゴン型(3)
秩父市	秩父丸通タクシー(株)	ワゴン型(1)	白岡市	白岡市	セダン型(2)
加須市	加須市	ワゴン型(6)	滑川町	滑川町	セダン型(2) ワゴン型(2)
本庄市	本庄市	セダン型(2) ワゴン型(2)	小川町	(有)小川観光タクシー	セダン型(15)
東松山市	イグチ交通(株) 観光タクシー(有) ダイイチ交通(株) (有)東松山交通	セダン(75)	川島町	(有)川島タクシー	セダン型(5)
深谷市	深谷市	セダン型(2) ワゴン型(5)	鳩山町	鳩山町	セダン型(1) ワゴン型(2)
志木市	(有)志木合同タクシー 三和富士交通(株) 昭和交通(株)	セダン型(80)	ときがわ町	ときがわ町	ワゴン型(2)
久喜市	久喜市	セダン型(2) ワゴン型(2)	小鹿野町	小鹿野町	ワゴン型(1)
北本市	北本市	セダン型(2) ワゴン型(2)	奇居町	奇居町	セダン型(2) ワゴン型(1)

## 委員会報告 見る・聞く・動く

### 総務産業常任委員会 ～北本トマトカレーによるまちおこし～

総務産業常任委員会は、7月23日、「トマトが名産地になった経緯、販売促進の内容等」について埼玉県北本市を視察した。

北本市は、トマトカレーで「全国ご当地カレーグランプリ優勝」など、トマトとその歴史をまちづくりに活用している。また、トマトカレーの取り組みについては、市は側面的に支援をし、実際の商品開発は観光協会や北本トマトカレーの会が中心に実施している。



美味しい北本トマトカレー



9月議会・傍聴者数	
9月2日(月)4名	9月12日(木)5名
9月4日(水)7名	9月17日(火)2名
9月5日(木)5名	9月18日(水)2名
9月6日(金)13名	9月20日(金)2名
9月10日(火)1名	9月25日(水)2名
合計	43名

**傍聴者の声** (敬称略)

(抜粋です)

- スポーツを推進して健康増進を計ることは、我々高齢者にとっても誠にありがたい (佐久間)
- 議会の中断について、傍聴者には訳が分からない。一問一答の定義を明確にしてほしい。答弁者の移動の時間や、繰り返しの答弁は無駄に感じる。合理的な進行、時間を有益に利用 (浦野)
- 毎号読んでいますが、スペースの関係でしょうか、質問、回答ともに要約されてよく分からない部分が多いと感じます (武内)
- 自治会の運営、助成について、自治会からの脱会者を出さないシステムも重要ですが、魅力ある自治会を創造し、入会しやすいシステム作りも同様に重要である (東城)



松伏町防災訓練 フライパンの火の消火



松伏町女性消防団レッドエンジェルス寸劇

**【編集後記】山崎 隆一郎**

ラグビーワールドカップ、20か国が参加の中、日本は強豪国を破り大金星。決勝戦は11月2日。どこが勝っても応援をしていきたい。ラグビーの精神である「ONE for ALL, ALL for ONE」。「一人はみんなのために、みんなは一人のために」。それぞれの個性を生かし役割を果たし勝利を。言葉を変えると、あなたの幸せはみんなの幸せ、みんなの幸せはあなたの幸せ、そうありたいと思う。議会だよりも個性を生かし役割を果たし制作している。

- 議長 川上 力
- 議会広報発行特別委員会
- 委員長 高橋 昭男
- 副委員長 堀越 利雄
- 委員 鈴木 勉
- 委員 田口 義博
- 委員 増田 等
- 委員 山崎 隆一郎
- 委員 平野 千穂